

# ひびき Hibiki

発行責任者／取手市議会議長 岡部正敬  
 発行／取手市議会 編集／取手市議会事務局  
 〒302-8585 茨城県取手市寺田5139  
 電話番号 0297-74-2141(内線1801・1802)  
 ファクス 0297-74-1990  
 ホームページアドレス <http://www.city.toride.ibaraki.jp/>  
 e-mailアドレス [gikai@city.toride.ibaraki.jp](mailto:gikai@city.toride.ibaraki.jp)

## 取手市議会だより第194号 平成23年11月1日発行

<紙面から>

取手市議会は、7月27日から28日まで臨時会を開催しました。臨時会では、取手駅東西自由通路整備事業を含む補正予算などが審議されました。また、9月5日から28日まで定例会を開催しました。定例会では、平成22年度の決算のほか、戸頭東・井野保育所の民営化に係る議案などが審議されました。さらに、議会図書室印刷機使用に関する100条調査特別委員会が設置されました。

### 議会基本条例(案) についての意見交換会を開催

11月5日

取手市議会ではこのほど、議会基本条例(案)をまとめました。次のような取手市独自の内容も盛り込まれています。

請願及び陳情の提案者からの発言の申し出があったときは、提案者からの意見を聞く機会を設けなければならないこと、各委員会では委員会に諮って市民の発言を許可できることなど、市民参加の機会を設けています。また、議会報告会を年1回以上行うこととしています。さらに、本会議での議員の討論は一議題につき1回が原則とされていますが、議員間の自由な議論を尽くすため、一議題につき3回まで行うことができるとしています。これは全国初の条例案となっています。この条例案について、11月5日(土曜日)に、市民の皆様と議会基本条例策定調査特別委員会委員との意見交換会を開催します。入場は無料です。多くの市民の皆様のご参加とご意見をお待ちしています。

**日時** 平成23年11月5日(土曜日) 午前10時  
**場所** 福祉交流センター(取手市役所敷地内) 1階多目的ホール

**参加予定議員**  
 (議会基本条例策定調査特別委員会)  
**委員長**：貫井 徹  
**副委員長**：結城 繁  
**委員**：金澤克仁・小嶋吉浩・齋藤久代・小泉眞理子・赤羽直一・遠山智恵子・林 京・倉持光男

### 議会図書室印刷機 使用に関する100条調査特別委員会を設置

取手市議会初

市民から提出された「地方自治法第100条調査会の設置を求める陳情」を採択したことを受けて、議会図書室印刷機使用に関する100条調査特別委員会※を設置しました。

陳情は、飯島悠介氏(現議員)と朝比奈通子議員が市議会の図書室に設置された印刷機を使用して、市議会議員補欠選挙向けのチラシを印刷したとする件について、地方自治法、公職選挙法、政治倫理条例違反の調査を求める内容です。

委員会は、陳情が調査を求める内容のうち議会の調査権が及ぶ範囲について調査を行います。なお、委員会の構成と採択した陳情の討論は、次のとおりです。

**委員長**：倉持光男  
**副委員長**：染谷和博  
**委員**：石井めぐみ・川又貞男・吉田 宏・入江洋一・中村 修・阿部洋子・赤羽直一・林 京

**〔陳情の討論〕**  
**小泉議員**：特別養護老人ホームの問題について100条調査委員会を否決しながら、今回の問題で設置するならば、取手市議会の信用

が失われかねない。反対。

**林議員**：100条委員会を設置してまで調べるべきことではないと思う。こういう内容で委員会をつくることは、取手市議会のレベルを全国に発信することにつながる。反対。

**赤羽議員**：既に本人がほとんどこのことを認めている。公職選挙法違反ならば、司直の手に委ねる段階であると思う。反対。

※100条調査委員会ってなに？

地方自治法第100条に書かれている「議会の調査権」を使うために設置する委員会です。「100条調査委員会」と呼ばれます。

議会はこの100条調査権によって、市の事務に関する調査のために、関係者に出頭・証言・記録の提出を請求できます。この請求を拒んだり、うその証言をすると議会に告発され、禁固や罰金が科せられます。なお、取手市議会では初めての100条調査委員会の設置となります。

### 取手市議会公式 Twitter (ツイッター) を開始しました [http://twitter.jp/toride\\_gikai](http://twitter.jp/toride_gikai)

市民の皆様へさらにきめ細かい議会情報の提供を行うことを目的として、取手市議会公式 Twitter (ツイッター) を開始しました。

URLは [http://twitter.jp/toride\\_gikai](http://twitter.jp/toride_gikai) です。お手持ちのパソコンまたは携帯電話等でアクセスしてください。また、左下のQRコードを携帯電話等のカメラで読み込むことでもアクセスできます。



本会議・委員会・全員協議会開催時、ホームページ更新時、市議会の予定や、その他議会に関する情報などを随時ツイート(更新)しています。これまでのひびきメール、議会映像インターネット配信と合わせて、市議会の情報を積極的に発信してまいります。



# 7月の臨時会に 市長が提出した議案

●平成23年度一般会計補正  
予算第4号：可決

・補正予算額：1852万  
2000円の増。

・主な内容：取手駅西口都  
市整備事業特別会計繰出金。

●平成23年度取手駅西口都  
市整備事業特別会計補正予  
算第1号：可決

・補正予算額：9132万  
2000円の増。

・主な内容：取手駅北土地  
区画整理事業の造成工事請  
負費、取手駅北地区の仮称  
ウエルネスプラザ整備計画  
策定調査委託料、歩行者デッ  
キ実施設計委託料、自転車  
駐車場実施設計委託料、取  
手駅東西自由通路の補償調  
査設計業務委託料など。

〔討論〕

齊藤（勝）議員：ウエルネ  
ス構想は熟慮した上で出し  
てくるべき。拙速で問題に  
ならない。市長がよく言う  
身の丈に合った規格だとい  
うなら、後世から批判され  
るだろうと思う。反対。

染谷議員：長年の課題であ  
った東西自由通路建設も第  
一步を踏み出した。駅周辺  
開発のこれ以上の遅れは許  
されない。市民が夢と希望  
を持てる構想であることを  
求め、賛成。

加増議員：取手市基本構想

ていると言われている。高  
度医療が簡単に安く受けら  
れる環境づくりは欠かせな  
い。賛成。

川又議員：白山商店街の  
人たちは、自分たちが陸の  
孤島にされるといふ立場に  
あり、とても受け入れられ  
ないという声が広まっている。  
それを無視して賛成す  
ることはできない。反対。

結城議員：東西自由通路の  
予算を高く評価する。ウエ  
ルネス・タウンは、今まで  
何も動かなかつたものがス  
タートすることは評価する  
が、マネジメントができる  
人材の育成が大事。賛成。

飯島議員：駅前のあるべき  
機能と姿は、赤ちゃんから  
高齢者まで人が集まり、楽  
しく活気にあふれた場所で  
あるべき。市民の願いに思  
いをはせて、もう一度議論  
を深めてほしい。反対。

吉田議員：ウエルネス・タ  
ウン構想については、皆さ  
んが胸を張って利用できる  
素晴らしいものをつくるた  
めにも、市民やいろいろな  
人たちの意見を聞き入れな  
がら前進してほしい。賛成。



●平成23年度一般会計補正  
予算第5号：可決

・補正予算額：3954万  
3000円の増。

・主な内容：保育所及び小  
中学校グラウンド表土の放  
射線量低減対策経費。私立  
幼稚園及び保育園への放射  
線量低減対策補助金。市税  
過誤納還付金。

〔討論〕

倉持議員：小中学生の子ど  
もや幼児を持つ親御さんの  
気持ちは痛いほどわかる。  
茨城県内トップを切って、  
園庭や校庭の除染作業をす  
るということは、大いに評  
価できる。賛成。

齋藤（久）議員：グラウン  
ドの表土掘削処理委託料  
及び私立保育園・幼稚園の  
補助金であり、市民の不安  
の声に敏感に反応し、寄り  
添って対応する具体的な姿  
勢として歓迎する。賛成。

●平成23年度一般会計補正  
予算第6号：可決

・補正予算額：320万円  
の増。

・主な内容：藤代高校甲子  
園出場の奨励金及び出場記  
念の横断幕を作成する経費。

〔討論〕

中村議員：最近、いろいろ  
な形で子どもたちから感動  
をいただいている。青少年  
の健全育成に役立てるとい  
う意味と、補助金で助ける  
という意味でも賛成。

●平成23年度一般会計補正  
予算第3号の専決処分：承  
認

東日本大震災被災者の緊  
急雇用創出事業及び雇用創  
出基金事業など9024万  
4000円増の補正、放射  
線測定委託料の債務負担行  
為を含む補正予算の専決処  
理。

分の承認を求めるもの。

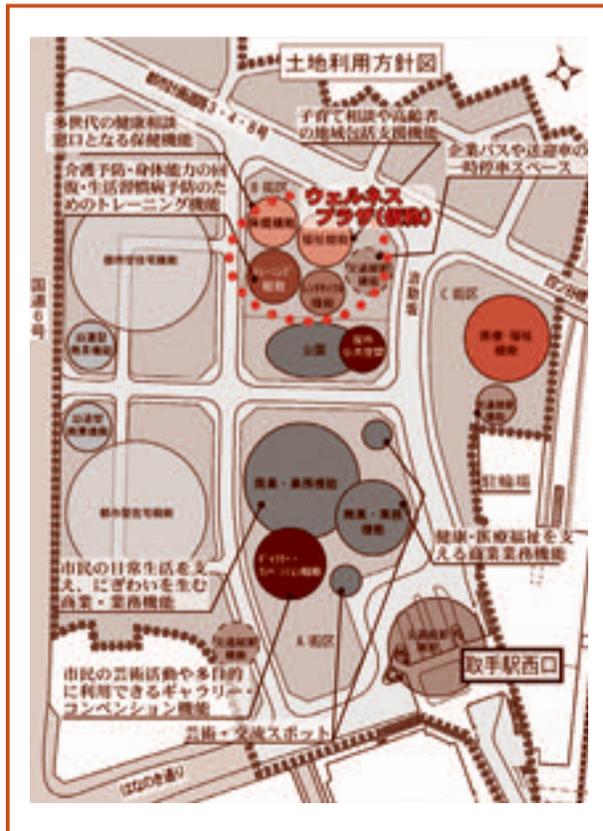
〔討論〕

貫井議員：大震災後、国民  
負担増も重く、経済低迷も  
懸念され市民の雇用・生活  
も厳しい。公明党が推進し  
た雇用創出事業は全額県補  
助金だ。不況にあえぐ市民  
救済のため賛成。

## あの言葉、どんな意味？ 「ウエルネスプラザ」

取手市では、「市民の  
健康を増進し、活力を創  
出する中心市街地 ウエ  
ルネス・タウン取手の創  
造」を目標に掲げる取手  
駅北土地利用構想を公表  
しました。

ウエルネス・タウンを  
実現するために、健康、  
医療、福祉、そして環境  
の機能を持つ施設が取手  
駅西口北地区に整備され  
る予定です。その中核と  
なる施設が「(仮称)ウエ  
ルネスプラザ」です。







# 平成22年度決算の討論

遠山議員：リーマンショック

で、市は人件費削減と福祉切り捨てを真っ先に行った。財政構造改革アクションプランには賛成できない。一般会計決算に反対。

金澤議員：行財政改革によつて、歳出の削減ができてい。現在ではもちろん、未来を担う世代への投資を評価。一般会計決算に賛成。

小泉議員：将来の取手市が財政的に自立していけるかどうかを左右するほどの常総地方広域市町村圏事務組合負担金が反対の最大の理由。一般会計決算に反対。

石井議員：市民に分かりやすい方法で情報を積極的に提供し、市政の理解者を増やすことを強く要望して、一般会計決算に賛成。

加増議員：市政運営の常道を踏み外すウェルネス・タウン構想を中止し、民主的市政運営に改めることを求め、取手駅西口都市整備事業決算に反対。

学生寮跡地をウェルネスプラザ、公園として計画しているが、市民合意もない計画には反対。用地先行取得事業特別会計決算に反対。

決算で明らかになった3億円の赤字を還元し、国保税の引き下げを求め、国民健康保険事業決算に反対。

後期高齢者医療制度は、75歳で線引きし差別する高齢者いじめの医療制度で、撤回を求める。後期高齢者医療特別会計決算に反対。

誰もが安心して利用できる介護制度とすることを求め、介護保険・介護サービス特別会計決算に反対。

取手市民の意思は、競輪場を文化・スポーツ施設などへ転用を求めているのが明らか。競輪事業特別会計決算に反対。

阿部議員：確実に構造改革が進んでいると評価。心の通う行政執行機関としての役割を果たすことを求め、一般会計決算に賛成。

朝比奈議員：常総地方広域市町村圏事務組合のキルン式ガス化溶融炉建設費の償還は、負担金として市の財政を圧迫する。一般会計決算に反対。

育所の建物、設備、備品等正及び市有財産の無償譲渡：可決

平成24年4月1日に井野保育所及び戸頭東保育所を民営化するため条例を改正するとともに、井野保育所の建物、設備、備品等を社会福祉法人高砂福祉会（千葉県流山市）に、戸頭東保

政を圧迫する。一般会計決算に反対。

ウエルネス・タウン構想は駅周辺を大きく広く使つて、新たな取手の魅力をつくるべき。取手駅西口都市整備事業決算に反対。

平議員：財政運営はさらにスリム化と効率化を図り、分権型社会の実現に向けて最大の効果を得るよう望んで、一般会計決算に賛成。

貫井議員：現在、65歳以上が人口の約25%に達し、被保険者数も約3万5000人に達した。景気の低迷、高齢化が顕著。健康は全市民の願望だ。さらなる保健事業を求め、国民健康保険事業特別会計決算に賛成。

要介護の原因は転倒・骨折・関節疾患等だ。一般質問で提案した口コモ体操導入を強く要望。家族介護者支援の推進も訴え、介護保険特別会計決算に賛成。

育所の建物、設備、備品等を社会福祉法人小瀬福祉会（茨城県常陸大宮市）に無償譲渡するもの。

〔討論〕

林議員：小瀬福祉会の理事長は、かつては金澤議員の祖父、今は三親等のおじ。議員の親族経営のところ市有財産を無償譲渡してよ

いのかと、市民の批判が起さるのには必至。反対。

吉田議員：民営化によつて、今以上に保育サービスが拡充されることは歓迎。総合的に判断すれば、無償譲渡の措置は妥当なもの。賛成。

朝比奈議員：営業権の無償譲渡と言えは民営化に、資産価値のある建物の無償譲渡や、市による地代の支払いがなぜ必要なのか。反対。

小嶋議員：市民ニーズの多様化と財政面の課題に対処して保育水準をさらに向上させるには、民営化は有効。建物も残存価値は低く、無償譲渡は妥当。賛成。

小泉議員：片方には市が地代を支払って、もう片方には一部地代を支払わせる矛盾がある。また、民営化後、法人と関係の深い市議会議員が経営に参画することは十分あり得る。反対。

遠山議員：今回の民営化が保育の市場化につながるのが見え見え。公的責任を投げ捨てるのかと指摘し反対。

平議員：今後、税収は大変な勢いで減少傾向にある。財政赤字は経済的な富を生む能力の増大を賄うためにのみ用いられるべき。競争原理が働かなければ減ぶ。賛成。

佐藤（清）議員：建物の耐震化について、改築なり新築なりについて全く契約の中にうたっていない。その点が最大の反対理由。反対。

●災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正：可決

災害弔慰金の支給対象となる遺族の範囲について、一定の要件の下に兄弟姉妹にまで拡大するため、条例を改正するもの。

〔討論〕

齋藤（久）議員：今までは弔慰金が支給されなかった兄弟姉妹にまで支給対象を拡大するもの。賛成。

●平成23年度一般会計補正予算第7号：原案可決

●補正予算額：5億8025万3000円の増。

●主な内容：東日本大震災被災者等の緊急雇用創出事業経費。小中学校緊急連絡システム構築経費。おたふくかぜ・水ぼうそう・インフルエンザ予防接種費用の助成経費。井野保育所・戸頭東保育所の民営化前の合同保育実施補助金。取手市産業振興戦略プランの策定委託料。取手駅東口駅前広場改修工事設計委託料。

●平成23年度一般会計補正予算第7号に対する修正動議：否決

保育所民営化を進めるための予算と、産業振興戦略プラン策定及び取手駅東口駅前広場改修工事設計業務の委託料を削除するもの。

〔討論〕

染谷議員：きめ細やかな補正予算で、市民ニーズに対応している。災害に強く、より住みやすく、安心安全なまちづくりをしていることを評価して、原案に賛成。

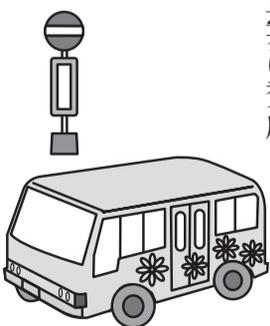
結城議員：東口駅前の改修工事について、東京藝大のためにバス停をつくることのできれば、そういったことも取手の駅として発信できる。原案に賛成。

加増議員：子育ての中心課題である公的保育を低下させ、産業、まちづくりもコンサル任せ。取手市政運営の在り方が大きく問われる。修正案に賛成。

平議員：民間を育て、プロのレベルを上げて、グローバル化に対処すべき。雇用と仕事が増えれば、税も増えるはず。原案に賛成。

小嶋議員：取手駅東口の駅前広場改修工事に賛成。防犯、防災もしっかりと予算化されている。原案に賛成。

朝比奈議員：産業振興戦略プランの策定委託は、職員の前張りも期待したい。また、取手駅東口の予算が唐突に出てきたのが解せない。修正案に賛成。



# 市長提出議案

●平成23年度国民健康保険事業特別会計補正予算第1号：可決

・補正予算額：3億574万6000円の増。

・主な内容：一般被保険者の療養給付費を増額。財政調整基金の積み立て。

## 〔討論〕

●**賈井議員**：療養諸費合計が約69億円となり22年度決算額約62億4000万円を上回る。療養諸費削減の視点から積極的健康対策を訴え賛成。

●**平成23年度介護保険特別会計補正予算第2号**：可決  
・補正予算額：2684万5000円の増。  
・主な内容：東日本大震災被災者の施設利用費のうち本人負担免除分を増額。国庫金等の返還金。一般会計への繰出金。

## 〔討論〕

●**賈井議員**：東日本大震災被災者への保険料減免措置と被災者施設入所の居住費サポートを全額補助なので賛成。



# 議員提出議案・意見書

●**原子力発電所における「国の防災指針」の見直しを求める意見書**：可決

原子力安全規制の速やかな強化。広域災害に対応可能な防災体制の確立。原子炉設置（変更）の条件見直しなどを国に求めるもの。

## 〔提出者〕

齋藤（久）議員ほか3人

## 〔討論〕

●**小泉議員**：原子炉設置（変更）の条件見直しとあり、原子炉の存続を認める内容になっている。反対。

●**遠山議員**：日本共産党は、多くの国民とともに脱原発を提言している。原発ゼロの日本を目指す立場で反対。

●**福島原発事故による放射能汚染から子どもと国民の健康を守る対策を求める意見書**：可決

放射能汚染の実態調査の実施。迅速な除染。避難者支援の強化。被ばく線量調査など健康管理を進めることなどを国に求めるもの。

## 〔提出者〕

林議員ほか2人

## 〔討論〕

●**賈井議員**：発災後半年が経過した。対応の鈍さ、愚かさ、延命にまで蠢動した菅政権に国民の怒りは沸騰点を

を貫いた。五感で感じられない放射能汚染、政府への早急な対応を求め、賛成。

●**加増議員**：放射能の実態を調査し、最大限の除染を行い、被災者や子どもたちが国民の健康を守ることが国としての責任。賛成。

●**川又議員**：被ばくを調査してもらいたい。賛成。

●**東海第2原発の廃炉を求める意見書**：可決

茨城県の原子力防災計画を見直し安全対策や避難計画を立てること。東海第2原発の再稼働を認めず廃炉を事業者に求めることなどを国と県に求めるもの。

## 〔提出者〕

加増議員ほか3人

## 〔討論〕

●**小泉議員**：東海第2原発で深刻な事態が起きれば、首都圏全体が甚大な被害を被ることは明らか。東海第2原発の再稼働を認めず、廃炉にすべき。賛成。

●**遠山議員**：東海第2原発の再稼働を許すな、今こそ原発から撤退の速やかな決断を求める声を、取手市議会から一緒に届けよう。賛成。

●**平議員**：原発には反対。脱原発を目指して、ソフトウェアも含めて頑張り

ましよう。賛成。

●**齋藤（久）議員**：東海第2原発は老朽化によるトラブルも頻繁に起きている。茨城県民には最も心配。生命第一の立場から賛成。

●**川又議員**：原発は将来的に無くしていく方向で考えている。東海第2原発の稼働を認めないことに賛成。

●**放射能汚染された食品の摂取制限の強化等を求める意見書**：可決

厳しい摂取基準の早期制定。子どもにはさらに厳しい基準を定めること。検査体制充実のための地方自治体への財政措置。サンプル調査数を増やすことなどを政府に求めるもの。

## 〔提出者〕

小泉議員ほか7人

## 〔討論〕

●**加増議員**：日本の暫定基準は高い数値で、内部被ばくも心配。安心できる摂取基準を制定すべき。食品の検査体制拡充も不可欠。賛成。

●**学校施設の防災機能向上のための新たな制度創設を求める意見書**：可決

学校施設防災機能向上のための新たな制度創設。制度創設にあわせて地方財政措置の拡充。再生可能エネルギーの積極的導入を図るための補助対象の拡充などを政府に求めるもの。

## 〔提出者〕

阿部議員ほか3人

## 〔討論〕

●**遠山議員**：学校施設も避難所としての防災機能を充実させる必要がある。賛成。

●**電力多消費型経済からの転換を求める意見書**：可決

家庭での省エネ・エコ化の早期推進のため、節電エコポイント・住宅エコポイントの実施。事業所等の省エネ投資促進のため、税制、財政、金融面での支援措置。企業の長期休暇取得や輪番作業の徹底、在宅勤務の推進などを政府に求めるもの。

## 〔提出者〕

染谷議員ほか3人

## 〔討論〕

●**遠山議員**：日本共産党では、大量生産、大量消費、大量廃棄、また24時間型社会などのエネルギー浪費型社会の抜本的な見直しを提言している。賛成。

●**社会保障切り捨てと一体の消費税増税は行なわないことを求める意見書**：否決

国民の暮らしに深刻な打撃を与え、救援と復興、経済の再生に破壊的影響を与える消費税増税に強く反対するもの。

## 〔提出者〕

遠山議員ほか2人

## 〔討論〕

●**林議員**：政府・民主党が本

当の無駄に切り込まず、増税といえど庶民という呪縛にとらわれている。この動きを決して許さない。賛成。

●**常総地方広域市町村圏事務組合第三次ごみ処理施設運営管理費について、最大限の「透明性、公正性、経済性」の確保を図る業務発注を求める意見書**：可決

ごみ処理施設運営管理業務の発注を一般競争入札とすること。すべての情報公開と、1年ごとの契約見直し。他の自治体と連携を図り安全な稼働に努めることなどを常総地方広域市町村圏事務組合に求めるもの。

## 〔提出者〕

林議員ほか2人

## 〔討論〕

●**朝比奈議員**：多額の税金が投入される管理事業者は、競争性と透明性を高めるためにも一般競争入札にするべき。すべての情報がいつでも市民に公開されること

## いずれも継続 政治倫理条例改正

倉持議員ほか2人が提出した政治倫理条例の一部改正及び遠山議員ほか2人が提出した政治倫理条例の一部改正は、いずれも総務文教常任委員会に付託され、継続審査となりました。

●早期の学校耐震化及び教育復興を求める請願：採択（市長・教育委員長へ送付）

〔紹介議員〕 朝比奈議員

●学校の耐震補強工事を求める陳情書：採択（市長・教育委員長へ送付）

〔討論〕 小嶋議員：学校の保護者や生徒たちが物理的に不安に感じているのは、学校耐震化と放射性物質の除染の問題。真つ先に予算をつぎ込むことをお願いして、賛成。

加増議員：地震災害から子どもたちを守ってほしいという父母や教職員の願いは当然。国と自治体の責任で早急な耐震化を求め、賛成。

染谷議員：取手市の小中学校の耐震化率は、全国平均を下回って60・7%。一日も早く耐震化率100%を達成するように求め、賛成。

吉田議員：一日も早く、子どもたちに安全安心の教育現場をつくってほしい。賛成。

●教育予算の拡充を求める請願：採択

〔紹介議員〕 朝比奈議員

齋藤（久）議員：国を支えるのは人。教育こそ最大、最高、有効な国家事業。日本を担う素晴らしい日本人を育ててほしい。賛成。

●取手市の稀少なヘイケボタルやメダカが生息する自然環境の保全を求める請願：採択（市長に送付）

〔紹介議員〕 野口議員ほか2人

〔討論〕 野口議員：「自然を愛し、水と緑をまもり、やさしい環境をつくります」とは取手市民憲章の一節だ。ホテル・メダカ・ドジョウが生息できる自然環境の保全を守る立場から賛成。

林議員：現地を確認した。来年のメダカやホタルは危ない、市道の安全確保も困難と危機感を持った。保全を図るべき。賛成。

●取手市での災害・非常事態の避難時において伴侶動物（犬・猫・小動物等のペット）同伴避難の容認を求める請願：趣旨採択

〔紹介議員〕 倉持議員ほか1人

〔討論〕 阿部議員：動物の飼育の継続、避難所、仮設住宅、公営住宅への入居、支援物資、義援金受給等の権利を保障すべく何らかの施策が緊急に必要なとの請願趣旨に賛同。趣旨採択に賛成。

遠山議員：何もできない、何もしない趣旨採択ではなく、市として積極的に取り組むべき。原案に賛成、趣旨採択には反対。

●国民健康保険税の引き下げを求める請願：不採択

〔紹介議員〕 加増議員

〔討論〕 加増議員：国民皆保険を守るためにも、市は国保税の引き下げに踏み出すとき。また、国保税の引き上げにつながる広域化計画は中止を求め、賛成。

●県立高校の存続と高校の30人以下学級実現を求める意見書提出に関する陳情：不採択

〔討論〕 加増議員：憲法26条の理念に基づき、高校の統廃合はやめ、子どもたちが生き生きと学べる環境づくり、30人以下学級を求め、賛成。

## 皆さんの希望です！ 請願・陳情

今回の定例会では、12件もの請願・陳情を皆様からお寄せいただき、前回から継続審査となっていた請願と合わせて審議を行いました。

そのため、今回は紙面の都合上、各請願・陳情の概要説明は割愛させていただきました。各請願・陳情の内容は、市ホームページ上の議決等結果からご確認ください。すべての議案・請願・陳情がPDFファイルでごらんいただけます。

<http://www.toride-gikai.net/pdf/1109/1109gianlist.pdf>

●政治倫理の向上を求める請願書：採択（市長へ送付）

〔紹介議員〕 遠山議員

〔討論〕 小嶋議員：政治倫理条例を三親等まで広げると、その人たちの職業選択の自由や基本的人権までも侵しかねない。これ以上の厳密化をすべきではない。反対。

遠山議員：政治とお金の問題が新聞をにぎわしている。それを止めるための政治倫理条例。誰も否定できるものではない。賛成。

●子どもの被ばく低減措置を求める陳情書：陳情事項1・2・3・5・6は採択（市長・教育委員長へ送付）、陳情事項4は不採択

〔討論〕 小嶋議員：市独自の除染マニュアルを早急に作成して、保護者たちの不安を一刻でも早く取り除く努力をすることは、市の責務。賛成。

染谷議員：取手市ができることは一日も早く実現し、国・県に求めるものは早急に実現できるように求めたい。安心して住める取手市をつくることを求めて、賛成。

朝比奈議員：市は、市民の不安と同じ目線で考えられる放射線対策担当部署などを置くことによって、市民の信頼に答えなければならぬ。陳情すべてに賛成。

小泉議員：すべての給食用食材の産地公表は可能。知

●取手市グリーンスポーツセンターの充実と利用サービスの質の向上を求める陳情：採択（市長・教育委員長へ送付）

〔討論〕 貫井議員：平成2年開館以

来21年間、昨年も27万人以上の利用者があった。健康増進のためさらなるサービースト質の向上と指定管理者の絶対無事故を求め、賛成。

加増議員：指定管理者制度を導入してきた取手市の責任が問われている。センターを快適に利用できるようにもつと努力すべき。賛成。

●子どもの被ばく低減措置を求める陳情書：陳情事項1・2・3・5・6は採択（市長・教育委員長へ送付）、陳情事項4は不採択

〔討論〕 小嶋議員：市独自の除染マニュアルを早急に作成して、保護者たちの不安を一刻でも早く取り除く努力をすることは、市の責務。賛成。

染谷議員：取手市ができることは一日も早く実現し、国・県に求めるものは早急に実現できるように求めたい。安心して住める取手市をつくることを求めて、賛成。

遠山議員：すべての項目に答え、さらに安全対策が求められている。最低限の要請は当然。賛成。

※ホールボディカウンター：全身放射線測定装置。

●野々井中学校跡地・施設利用に関する陳情：採択（市長・教育委員長へ送付）

〔討論〕 倉持議員：市の活性化をしていくには、ここに人が集まってくれる施設への売却も真剣に考えなければならぬ。施設を利用者にだけ限定するような形には反対。



跡地利用が検討される旧野々井中学校

# 一般質問

# 市民の声を代表して 22人が質問

議員は、市長などに対して、市の仕事の状況や将来の方針などを質問することができます。これを「市政に関する一般質問」と呼んでいます。  
今回の定例会では、22人の議員が市民の皆さんを代表して一般質問をしました。どのような質問と答弁のやり取りがあったのか、ご紹介していきます。

## 子育て世代を 呼び寄せよう！

齋藤 久代 議員

問 市が子育て支援世代に発するラブコールにはインパクトがない。他市町村と比べて素晴らしいサービスがあれば、伝わるように打ち出すべき。子育て支援サイトを立ち上げると有効であると思うがどうか。

健康福祉部長 ホームページの見直しにより充実したと思っているが、今後よりよい形に持っていきたい。

問 教育関係の情報も集約するのは可能か。

答 防犯的なものやサイトの作り方もあるので、担当部局と協議していきたい。

教育長 教育委員会関係の情報も一覧性を持っているわけではない。分かるような形で見直したい。

問 宇都宮市で開催されている「宮コン」が注目を浴びている。結婚希望世代も合わせて面倒を見るという意味で、このような支援についてはどうか。

まちづくり振興部長 商工会と相談したい。

問 子育て支援を応援する情報が一括してあると本当に宣伝になると思うが。

答 広範囲にわたるので、部内で情報発信の在り方の観点から協議したい。

## 正確なマップを！ 放射線濃度

染谷 和博 議員

問 福島第一原発事故を受け、文部科学省は8月30日に放射線セシウム濃度マップを公表した。市としても正確なマップを作成したほうがよいと考えるが。

総務部長 現在、専門の業者に委託し、公園を含めた100カ所を定点的に測定している。その結果は地図上に落とし、数値も合わせて掲示して情報提供をしている。

問 市が所有している放射線測定機器で測定した結果は公表しているのか。

答 公表していない。

問 公表しなければ何のために測っているのか。

答 業者の測定機器は精度が高く、我々の機器とは誤差が生じてしまう。参考という考えで使っている。

問 民間の団体もそれぞれで買った機器で測定している。それがマップとして出て数値が独り歩きする前に、市としてきちんと正確なマップを発表し、市民を安心させてほしい。

答 我々もできる範囲の中でマップは作成しているという認識でいる。

## 対策は？ 藤代駅周辺駐輪場

阿部 洋子 議員

問 藤代駅北口の駐輪場で水たまりが多くできる個所の整備を昨年要望したが、どのようなになっているのか。

市長 駐輪場対策には本腰を入れなければならないと考えている。

総務部長 抜本的な整備には段差の解消が必要になるし、水抜き場所がないという問題があるが、多少の水たまりは直営で対応できると思う。計画的に進めたい。

問 藤代駅南口は放置自転車が多く、駐輪場のスペースに余裕がなくなってきたが、対策は。

答 取手駅のように自転車放置整理区域の指定を検討したいが、そうすると有料化するか、または別に駐輪場を設けなければならない可能性はある。今のところは利用者のマナーを信じ、シルバー（人材センター）の方たちと駐輪場整理をしていきたい。

問 対策の期限はいつぐらいを考えているか。

答 仮に自転車放置整理区域指定となると、周知期間や調整が必要になるのでまだまだ時間はかかる。

## 戦争の悲惨さを 後世に

貫井 徹 議員

問 天災の発生は防げないが、戦争という人災は絶対に繰り返してはならない。

私が20年前議会提案した取手市民による戦争体験記に『赤い炎と青い草』を寄稿した故福井直一元新聞記者は「空襲を受けなかった都市での戦争体験記は少なく非常に意義がある」と評価した。私が11年前議会で提案した第二集・戦争体験記にも、上杉俊直元陸軍少尉等多くの市民が戦火の体験を寄稿した。戦争体験を語る人が高齢となり時間との戦いだ。約7割の市民が転入者で、全国各地の戦争体験が語れると確信する。

不戦の誓いも新たに、取手市主導の第三集・戦争体験記発刊を提案する。

また、取手郷土ゆかりの人々の作品を含めた戦争と平和展の開催を提案する。

総務部長 先輩職員が戦争体験記を第一集、第二集と発刊している。平和事業の中で、第三集を目指して取り組んでいきたい。

教育委員長 戦争と平和展は、市長部局と連携しながら検討したい。

※質問部分は、議員本人が編集しました。

# 農業

平 由子 議員

問 農産物や土壌を検査するのは汚染地域の住民の被ばく防護目的です。チエルノブイリ事故直後の検査数は、土壌が143万検体、作物261万、家畜750万頭、農地は日本の全農地面積の約6倍。5月、日本検査状況はその1000分の1です。放射性物質の封じ込めを策定し実行、汚染のない土をアピールすべき。

世界5位の農業、日本第2位茨城。農家の向上心、もの作りへの姿勢、技術、肥料の絶妙な使い方、異次元の世界を持ち合わせた専業農家。農家の赤字補償予算1年分、海外の肥沃な農地が日本の農地面積の5倍は買える。市の海外農場支援を。

市長 さまざまな議論を呼び起こすような大きな問題提起で、慎重に検討する要素があると思う。いろいろな可能性があるということ、を勉強させていただいた。農業委員会会長 放射能対策は、国、県及び関係機関の指導に基づいて、今後いろいろと進めていきたい。※質問部分は、議員本人が編集しました。

# 放射能汚染の現状と対策

佐藤 隆治 議員

問 放射線の除染について、公園はまだ手つかずの状況。小中学校、保育所、幼稚園と同様に速やかに基準値を見直し、218カ所ある公園の除染についての方向性を示すべきではないか。

建設部長 今後は、公園の砂場の砂の入れ替えを順次やっていきたい。

問 公園の砂場はどのくらいあるのか。皆さんが毎日遊んでいるので、除染をしっかりとやってほしい。

答 砂場は90カ所ある。問 住民との公園の共同除染についての考え方は。

答 住民が砂の入れ替えをしたい場合は、公園の一部に穴を掘り、そこに交換した砂を置く考え。

問 放射能に関する講演会の質疑では、家庭菜園についての質問が必ず出る。対応策は考えているか。

まちづくり振興部長 基本的には安全域だと推定できるので、問い合わせにはそのように答えている。

問 ホームページをもっと詳しく更新して、問題に対してQ&A等で分かりやすく説明してほしい。



白山商店街入口交差点 (国道6号線)

# 想定して対策を 雨水排水

金澤 克仁 議員

問 先日の台風12号により、奈良県等で72時間間で1000ミリを超える雨が降った。このような雨を今までは想定外という言葉で片付けていたが、これからは想定しなければならぬ。今後の排水対策を問う。

市長 井野・青柳地区の排水対策を都市計画道路事業に合わせて整備したい。また取手一中の統廃合、公共施設の再編で生み出される跡地を調整池とすることも検討していく。

問 平成21年に採択された長兵衛新田排水樋管拡張に関する請願はどういう計画になっていくのか。

建設部長 検討の結果、青柳の排水を分散させるため相野谷川の上流に新たに樋管を設ける。下水道組合が

今年度中に事業認可を取る。問 工事完了までの対策は。答 水田脇の用排水路に流す形で仮設ポンプの設置を考えている。

問 樋管の拡張より新設のほうが効果があるという説明を市民にしてほしい。答 連絡があればいつでも説明したい。

# どうなる？ 白山交差点の整備

山野井 隆 議員

問 白山交差点の歩行者の交通量は。都市整備部長 8月10日の調査では、利用者832名、うち国道を横断した人は783名。

問 歩道橋を利用する人は。答 交差点は、横断歩道はなく自転車横断帯のみとなっている。歩道橋は約180名が渡っている。

問 本来は渡るべき所よりも危険な所を渡っている。今回の整備で横断歩道は新設されるのか。また、歩道橋はどうなるのか。

答 横断歩道は4.5メートル、自転車横断帯は1.5メートルの形を2カ所、そこに歩行者用信号機を付ける。歩道橋は現状のまま。

問 白山商店街、地域の方から、6号国道の上り車線では右折できなくなるという懸念があるが。

答 7月24日の住民説明会では非常に危険ということ、で閉鎖ということであったが、その後の県警との協議で右折ラインを設けて分離帯を開ける形になった。

# 早急な取り組みを！ 学校施設耐震化

遠山智恵子 議員

問 市民の生命と財産を守る市長の政治姿勢を問う。

市長 普段からの啓発、訓練等で減災は可能。責任者として安全安心が大事だと肝に銘じていきたい。

問 学校耐震化率全国市町村別ランキングで全国平均80.3%、取手市は60.7%。この低レベルを教育委員会はどう受け止めているのか。

教育部長 今までは耐震化工事のときに老朽化(補修)工事も行ってきたが、それではなかなか進まないの、耐震化率を上げたい。

問 もっと前倒しで取り組みべきだった。今この間に子どもたちは学校で過ごしているの、早急に取り組んでほしい。合併特例債は学校優先に活用するはずだが、今後はどういう方針か。

財政部長 小中学校の耐震補強については、合併特例債よりも有利に運用できる財源を活用している。国の財源措置等を勘案して、効

率的な財政運営と安全な学校施設の構築に努めたい。

# 市の放射線対策

小泉 眞理子 議員

問 放射能汚染から子どもを守ろう@取手という団体が羽中公園(西二丁目)内57カ所を測定したところ、高い所と低い所に相異なる差があった。市が現在行っている測定では足りない。子どもたちがよく行く場所を、一つの場所ですべて測定し、放射線量の高い所を調べるべき。そのためには市が放射線量計を購入して、ボランティア等に協力をお願いするべき。

総務部長 我々が現在やっていることを最大限やっている。問 給食用食材の測定を始めたことは評価するが、1日1食材は少な過ぎるし、委託業者が使う検査機器の放射線物質検出限界値が高すぎる。市が独自に検査機器を購入する考えはあるか。

まちづくり振興部長 厚生労働省に全国の食材検査結果のデータが集まっている。生産者が供給する段階で検査され、安全な物が消費者に届いている前提でいるが、安心提供のために当日検査を行っている。今後、中長期的な放射線量をにらみ研究していきたい。

## 具体的内容は？ ウエルネス・タウン

朝比奈 通子 議員

問 ウエルネス・タウン構  
想について意見を伺ったと  
ころ、若いお母さんから大  
変不評だった。今議会での  
答弁を聞くと、臨時議会の  
議論を経てコンセプトの精  
査をしていると受け止める。  
ウエルネスプラザの調査に  
ついて、具体的内容は？

中心市街地整備課長 機能  
の配置、規模、事業費、事  
業手法、運営手法を検討す  
ることになっている。

問 採択した中ホール建設  
の請願の結果はどうなった  
のか。また、監査請求も出  
ている。私はもっともだと  
思うが、市長の認識は？

市長 請願者に取手駅西口  
には、若いも若きも等しく  
使う広場が一番という話を  
した。音楽や芸術を披露す  
る場所が欲しい意見は尊重  
するが、なぜB街区に限定  
するのかという思いだ。

問 ウエルネス・タウン構  
想に東急ビルの活用を一緒  
に考えていないのが納得い  
かない。官民協働で再開に  
向けて道筋を示してほしい。  
答 東急の地権者とは活用  
について逃げずに話をする。  
しかし、東急の話がないと  
公有地の部分が前に進めな  
いという議論はないと思う。

## 行政改革は 人件費の削減から

川又 貞男 議員

問 前回、市長から、非常  
に人員が少なくなったので  
人件費削減は今のところ考  
えていないという話があっ  
た。しかし、将来のことを  
考えると行政改革は必要  
だ。そのためには人件費削  
減から始めなければならな  
い。削減は、選挙で選ばれ  
た市長や議員の報酬から始  
めて、職員にも広げられ  
いと思うが、どうか。

市長 人件費削減は、18年  
度から22年度までの5年間  
の累計で19億2700万円  
の財政効果が出ている。一  
人一人の単価についても、  
隣接市が調整手当を引き上  
げる中、現状のまま抑えて  
いる。職員の勤務意欲にも  
関わるので、その辺を見定  
めながら、無理、無駄を省  
くところから対応したい。  
総務部長 地域手当を含め  
たラスパイラス指数※は、  
県内最下位であることを認  
識していただきたい。

※ラスパイラス指数：国家  
公務員と地方公務員の基本  
給与額を比較する指数。国  
を100とする。取手市の  
地域手当補正後ラスパイレ  
ス指数は90・0（平成22年  
4月1日時点）。



## 白山商店街入口 交差点の安全対策

佐藤 清 議員

問 白山商店街入口は子ど  
もたちの通学路であり、安  
全対策をしっかりとしなければ  
ならない。あそこは交通  
事故が起きる要素がたくさ  
んある。国道6号線から商  
店街入口への右折進入は県  
警から引き続き認められた  
が、その住民説明会で「安  
全対策について模索中」と  
いう言葉が出た。どうい  
う条件が出ているのか。

都市整備部長 右折のため  
に中央分離帯を開けると、  
そこから白山商店街側か  
らのバイクや自転車が6号  
線を通過してしまうことを  
我々や県警は心配している。  
問 これだったら安全とい  
う決定は誰が行うのか。

答 市と県警が協議し、国  
土交通省の承認をもらう形  
になる。  
問 学生寮跡地西側の道路  
にかなり違法駐車があるの  
で処置をお願いしたい。こ  
の道路と都市計画道路3・  
4・8がぶつかる所は必ず

交通量が多くなる場所だが、  
どのように考えているのか。  
答 道路の完成に当たり、  
県警と信号機、横断歩道等  
の個々の協議に入る。

## 政治倫理条例について

結城 繁 議員

問 政治倫理条例第16条の  
契約の辞退届について、提  
出状況を広報等で公表する  
とあるが、行っているか。  
政策推進部長 ホームペー  
ジに1回だけ公表している。  
問 ホームページを見る人  
ばかりでないので広報に載  
せてほしい。辞退届は現在、  
何人から出ているか。

秘書課長 6人。  
問 辞退届を出さなければ  
ならない議員が出していな  
い場合を想定したとき、確  
認する方法はあるか。  
答 議員の政治倫理の問題  
であり、調査は難しい。  
問 辞退届が出ている議員  
が絡んでいる会社は、例え  
ば学校給食用物資契約のリ  
ストには載っているか。

答 今のところ、そういう  
のはないと思う。  
問 1回20万円以上の契約  
が駄目な場合、例えば10  
0万円未満であれば5回で  
きると解釈しているか。  
答 以前、結城議員が同じ  
質疑に答弁したとおり、1  
回につき20万未満であれば

問題ないと感じている。  
問 私がこれを提案した  
が、工事は多額な1回の費  
用になるが、物品納入はそ  
ういうことが可能。議員同  
士が不平等かなと思う。

## 安全対策を！ 新取手駅周辺

入江 洋一 議員

1 新取手駅周辺は、地  
域住民から、終電後のパト  
ロール強化をしてほしいと  
の声が以前より上がってい  
る。駅前に防犯カメラの設  
置を求める。また、常総線  
のほかの駅への設置はどの  
ように考えているか。

2 新取手駅入口交差点と、  
あずま幼稚園入口交差点の  
信号機の見直し及び安全対  
策は、長年の懸案事項とな  
っている。どのように取り  
組み、関東鉄道、県警と協  
議してきたか。新取手地区  
と野々井地区の皆さんが安  
全に通過できるように、安全  
対策をお願いする。

市長 1 新取手駅前には防  
犯カメラが必要な個所と位  
置付けられ、優先順位も上  
位2番目のため、年次計画  
で設置を検討したい。  
総務部長 1 市全体の状  
況を勘案しながら、警察と  
協議を進めたい。  
2 警察とも何度か協議し  
ているが、現状の対応が最  
善の方法という返事をいた

だいている。引き続き関東  
鉄道、警察と協議し、より  
よい利用ができるように粘  
り強く検討していきたい。

## 測定と除染を！ 放射能問題

加増 充子 議員

問 取手市の米からはセシ  
ウムは検出されなかった。  
野菜についてもきちんと検  
査すべき。農水省から検査  
機器購入の補助が出ること  
になったので、農協、農業  
委員会と相談して検査機器  
の購入を求める。

まちづくり振興部長 国の  
ほうの指針が整う状況であ  
れば検討したい。  
農業委員会会長 作物の安  
全性を裏付けるための検査  
体制、除染対応を国・県に  
働きかけている。  
問 市が線量測定を行って  
いないところがあり、地域  
から大丈夫なのかという声  
が出ている。その声を受け  
て取手駅東口を測定したが  
高い数値が出た。そのよう  
な場合、市による速やかな  
測定と除染を求める。

まちづくり振興部長 除染  
計画策定に早急に着手する。  
問 測定・除染に費用がか  
かる。東京電力の賠償への  
対応を厳しく批判して、しっ  
かり賠償を求めてほしい。  
総務部長 東京電力にきち  
んと請求していく。

## いまだに不安 藤代地区の雨水排水

石井めぐみ 議員

旧藤代町地域では、いまだに雨が降るたびに雨水排水問題で不安になる住民が多い。

1 柵木地区の雨水排水は北浦川に流れ込むので北浦川の改修工事が必要であるが、何年に工事完了する予定か。また、早急な対応として調整池を造る必要があると考える。

2 藤代横町地区の、大雨のとき自動車を避難させるための駐車場確保と住民説明会をお願いしたい。

市長 1 平成21年に柵木雨水幹線が都市計画道路中内大塚線まで完成したので柵木地区の浸水緩和はさされている。調整池は都市型排水対策の一つとして検討していかねばいけないが、柵木雨水幹線の効果が検討し対応する。

建設部長 2 駐車場は藤代庁舎のもので調整したい。住民説明会は、住民の方から連絡があれば喜んで説明に上がる。

## 早急な整備を！ 藤代駅北口

赤羽 直一 議員

問 藤代駅北口について、

区画整理と再開発の計画があったが、この計画はまだ生きているのか。

まちづくり振興部長 区画整理事業と駅前広場に伴う道路計画がある。道路計画は、計画決定のまま残っている。区画整理事業は、計画的な位置付けはない。

問 45年以上何も手付かずにいるのは行政の怠慢と言われてもしょうがない。地元の方に気の毒と思うが、その辺の考えは。

答 国から、都市計画決定している道路の見直しを行う指示も出ている。未着手路線についての整理はこれから行う。

問 合併特例債は、合併した両市の格差是正、また一体化するための事業に使うことが本来の目的。合併に期待した旧藤代町民も非常に多いと思う。しかし、藤代地区に使われる合併特例債は少ないのではないか。

取手駅は東口は完成、西口も完成しつつある。残るは全然手を付けていない藤代駅北口なので、ぜひとも早急な整備をお願いしたい。

## 放射性物質の 除染と対策

小嶋 吉浩 議員

問 小さな子どもを持つ保護者の、放射能に対する心配はぬぐい去られていな

い。除染マニュアルをイラストにして、ホームページや広報に載せれば保護者の不安は取り除けると思う。

総務部長 非常に分かりやすいと思う。検討したい。

問 住民が独自に測定して高い数値が出てしまった場合の市の対応は。

総務部長 状況に応じて適切に対応せざるを得ない。

問 学校通学路の対応は。

教育部長 除染計画ができ次第、実行に移す。

問 家畜の飼料米の検査体制は。

まちづくり振興部長 県から検査の通知が来た。検査結果は速やかに公表する。

問 わらともみ殻についての対処は。

答 国・県の指導では、そのまま田んぼに戻して差し支えないという判断である。

問 積極的に取手の米は安全だと訴えていく考えは。

農業委員会会長 広報等、ありとあらゆる方法で安全性を訴えたい。

## 安全安心な食糧供給 ウエルネス・タウン

飯島 悠介 議員

問 安全安心な食糧供給について伺う。

まちづくり振興部長 今回の放射能問題については、全県下で実施している調査を通じて安心の度合いを高

めていく。さらに取手の農産物の価値を高めるためのPRの取り組みをしていく。

問 合併特例債の期限が延長されるが、ウエルネス・タウン構想は変更され得るか。

都市整備部長 予算に基づいた形の中で、今作業を進めているところだ。

問 ウエルネス・タウン構想は、東急ビルが空っぽになっっていることによる損失なども試算した上で計画を進めているのか。

市長 計算基礎は持ち合わせていない。

問 受け身の姿勢では取手が後退していくのを防げない。地域の資源をフルに活用してにぎわいを取り戻してほしい。

※質問と答弁は、議員本人が編集しました。

## 見直しのポイントは？ 地域防災計画

林 京 議員

問 液状化現象への対策は持っていたのか。

財政部長 建物と宅地にかんりの被害が出た。517の建物と22の土地について税の減免をしている。

問 液状化の抜本対策として地盤改良に公的支援を検討してはどうか。

建設部長 個人の財産なので、個人の負担が原則。



## 更新は？ 旧型消防車両

吉田 宏 議員

問 市民の安心のため古くなりつつある消防車両の更新をどうするか。

1 今回の補正予算に、はしご車のオーバーホール代2100万円が計上されて

いるが、これによってあと何年使用できるのか。

2 最新型のはしご車を購入する予定は。その費用に合併特例債の活用は可能か。

消防長 1 はしご車については7月の車両点検の結果、不具合が判明、運用を停止している。オーバーホールによって運用を再開したい。このオーバーホールであと5年は運用できる。

市長 2 はしご車は運用を停止しており、速やかにその状態を解消するため、納車まで時間がかかる購入ではなくオーバーホールで対応した。はしご車のみならず高規格救急車も入れ替えていかなければならない中での選択になっている。

財政部長 2 合併特例債は充てられない。あと5年は持つということなので、その間の景気の動向を見て安全安心対策を図りたい。

次の定例会は、  
11月28日(月曜日)  
開会の予定です。